臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 1	市民課	広聴グループ

事務事業名		交通安全対策事業					新規・継続	継続		
		ソフト・ハード		ソフト						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-21-51	交通安全対策の推進							
	関連施策名(施策コード)	VI-17-37	公共交通の利便性の向上							
基本項目	事業内容(経緯)	車社会となり高齢者が関係する事故も増加する中、年4回の交通安全運動期間等における啓発活動を通じて交通事故防止に対する市民の意識の高揚を図っています。また、交通安全施設(カーブミラー)の維持修繕管理及び運転免許証自主返納支援、交通指導員に対する活動支援等も行っています。道路整備が進み利便性が向上する一方、高齢ドライバーによる事故が後を絶たない状況です。運転免許証自主返納支援事業は運転に不安を感じ始めた方などへの返納の動機付け及び高齢者等の交通事故防止を目的として平成29年度より導入し、返納者に対してタクシーの乗車券やバスの回数券、1万円分を支給しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	啓発活動回数	年4回の交通安全運動やその他普及啓発	件	13	17	17	20	25
		②	市内交通事故で高齢者が関する事故件数	高齢者が関わる人身事故件数	%	47	45	58	31	42
③	交通安全講習などの参加率	参加者の割合(人口1,000人あたり)	%	12	11	10	2	13		
④	運転免許証の自主返納件数	自主返納件数	件	183	222	275	226	300		
事業対象	市民	成果	市内で発生した人身事故件数も前年比35件減少(102件→67件)し、65歳以上が関わる交通事故も28件の減少(59件→31件)となりました。本事業も4年が経過し980名の方が免許証を返納されています。返納により高齢者等が車を運転しなくなることは、事故のリスクも減り今後の交通事故防止・抑止に繋がるものと期待しています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	市民1,000人あたりの年間交通事故件数	人身交通事故件数(物損のみは除く)	件	3	2	3	2	2		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	8,020						8,020

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	判断基準	理由
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	交通事故防止は市民総意の願いであり、交通事故そのものの減少や死傷者数の減少に向け、臼杵津久見警察署および大分県交通安全協会臼杵支部などと協力・連携した活動を行っています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	運転免許証の自主返納制度導入後、事故件数が若干減少傾向にあるものの、自主返納者数そのものも減少傾向にあります。本年度においては感染症拡大により人の動きの減少に伴っていましたが、引き続き、制度の周知を積極的に行っていく必要があります。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	交通安全意識の向上を目指し、市報やケーブルテレビなどの広報媒体の活用や交通安全運動期間中の職員による街頭啓発等で市民に対し、交通安全啓発を行うことが出来ています。
事業の問題・課題	交通事故防止対策の一環として啓発活動や交通安全施設等の整備にも取り組んでいますが、交通事故の防止には市民一人ひとりの交通安全に対する意識を高めることが極めて重要です。交通安全に対する意識を一人でも多くの市民に高めてもらうためにも、広報内容や周知方法をどのように実施していくかが課題だと考えています。			
具体的な改善案	市民の交通安全意識向上のため、メディアを活用した広報や街頭での啓発活動だけでなく、各地区での交通安全講話や教室等、市民一人ひとりがかもっと身近に感じられるような取り組みを実施していきたいと考えています。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	前年と比べ人身事故件数(65歳以上が関わる交通事故含)は減少しましたが、今後も引き続き高齢者を主とした交通安全に対する意識の高揚を図る取り組み(交通安全教室や講座等)を地道かつ積極的に行っていくことが重要です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 2	税務課	資産税グループ

事務事業名	航空写真撮影及び写真地図作成事業						新規・継続	単年		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VIII-22-54	市政運営を支える基盤の強化					ソフト・ハード	ハード	
	関連施策名(施策コード)	VI-19-44	情報基盤の整備							
基本項目	事業内容(経緯)	市内全域の航空写真を撮影し最新の写真地図データを作成することで、主に固定資産税の課税資料として活用するほか、庁内で使用しているGISシステムの地図データを更新する事業です。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	作成データ仕様の検討	費用対効果の向上を目的とするデータ仕様の精査	仕様書	-	-	-	一式	-
		②	委託中の事務打ち合わせ	円滑な事業遂行のために委託先と実施した打ち合わせ会議	回	-	-	-	4	-
③	撮影面積	航空写真の更新面積	K㎡	-	-	-	291.2	-		
④										
事業対象	固定資産(土地・家屋)所有者 市民 市職員	成果	7年前の地図データが最新のものへ更新されたことで事務効率化が図られたほか、庁内GISシステムの写真地図の信頼性が向上しました。併せて、今回地図上の高さデータを計測し、防災等への活用も検討しています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	臼杵市域1km当たりの写真地図データ更新費用	15,706千円(委託費) ÷ 291.20km(市域面積)	円/k㎡	-	-	-	53,935			

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	15,706						15,706

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	B		航空写真を活用した固定資産税の賦課・更新業務は全国的に標準となっており、業務への必要度は高いものの、市民等にとって直接的な必要性が高いとは言えない面もあります。
		A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない			
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A		固定資産税は現況課税であり、評価を行ううえで課税客体の現況把握は必須で、これらに航空写真が有効に活用されます。また、固定資産業務以外にも臼杵市のさまざまな業務において活用されています。
A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない					
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A		今回撮影した航空写真は今後数年にわたって使用され、ランニングコストはほぼ不要です。しかし、今後更にいろんな分野で活用していくことにより、イニシャルコストをできるだけ回収していくことも重要だと考えます。	
	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない				
事業の問題・課題	写真地図は現地との同一性が求められる鮮度が重要な資料ですが、毎年撮影するのはコスト的に困難です。また、利用する業務などによっては、必要な情報や求める精度に差異がありますので、コストを有効活用する観点からはその取捨選択も必要になります。近隣自治体に共同撮影について提案しましたが、これらの課題がクリアできず今回は単独事業となりました。				
具体的な改善案	撮影頻度を上げるためにも撮影コストの削減が必要です。今回は撮影地上解像度を10cmから12cmに下げて費用を抑えました。引き続き必要なデータ精度の適正化などによる費用対効果の向上、また、共同撮影などによるコスト削減の可能性を検討します。更に、これまで写真地図図を利用していない場面においても、今後有効活用できることがないか検討していきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	固定資産税業務だけでなく、全庁的に高度な市民サービスを提供し続けていくために有効な事業です。今後も、少ない負担で高い効果が得られる方法を検討しながら実施します。
------	---------------	----	--

白杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 3	環境課	環境グループ

事務事業名	環境美化活動支援事業		新規・継続	継続
	ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	ボランティアでごみ拾いする団体を対象にごみ袋を無償で配布し、回収されたごみの収集を行っています。また、自治会等からの申請を受け「ポイ捨て禁止・不法投棄防止」等の看板を無償で交付しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	ボランティア袋配布枚数	ボランティア袋配布枚数	枚	12,810	11,180	13,295	10,581	12,000
		②	クリーンサポーターバッグ配布枚数	クリーンサポーターバッグ配布枚数	枚	879	157	102	147	100
③	啓発看板配布数	ポイ捨て禁止等啓発看板配布枚数	枚	40	53	32	10	30		
④										
事業対象	市民・自治会・事業者等	成果	環境美化活動団体が継続的に活動されることで、ポイ捨て防止や美化意識の向上が図られ、より暮らしやすい環境が維持できました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	ボランティア清掃実施団体数	ボランティア清掃を実施している団体数	団体	174	143	162	144	150		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	125						125

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	美しいまちを維持させるためにも、市民の自主的な環境美化活動は必要不可欠です。市民による活動継続のためには、行政による継続的支援が必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	市全体の環境美化につながっています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	ボランティア清掃のごみは、主に家庭ごみの収集時に、まとめて委託業者が収集しており、効率的に処理が行われています。
事業の問題・課題	今後地区等によるボランティア清掃の参加者減少による活動規模縮小、及び環境美化意識の向上が課題です。		
具体的な改善案	今後も個人や地区、学校等で行われる清掃活動を通じてクリーンサポーター登録を促していきます。併せて継続して市報等による環境美化の啓発をします。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市民主導の美化活動は、美しいまちづくりのため、必要不可欠です。啓発活動、ボランティア袋等の支援は継続していく必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 4	環境課	環境グループ

事務事業名	広域ごみ処理事業		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵地域での可燃ごみ処理を焼却施設のある大分市との協定に基づき竹田市、由布市を含めた4市で広域処理しています。また、野津地域では、一般廃棄物の全てを豊後大野市との協定に基づき処理しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	可燃ごみ処理量(臼杵地域)	大分市への可燃ごみ搬入量	t	8,651	8,791	9,176	9,172	9,046
		②	ごみ処理量(野津地域)	豊後大野市へのごみ搬入量	t	1,550	1,546	1,550	1,610	1,569
	③									
④										
事業対象	市民・事業者	成果	効率的な事業運営により、衛生的で快適な生活を送ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	広域ごみ処理に係る経費	大分市、豊後大野市の清掃工場運営管理費等	千円	206,428	190,410	216,177	207,320	200,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	207,320						207,320

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		衛生的で快適な生活を送るために必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		適正にごみを処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		4R(リフューズ:発生回避、リデュース:減量、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)等への意識高揚を促すことでごみの減量が図られ、経費の削減につながると考えます。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	ごみを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠です。また、清掃工場の長寿命化のための大規模改修などにより、ごみの減量化が図られたにも関わらず経費が膨らむ可能性もあります。			
具体的な改善案	4Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを推し進めることにより、引き続き啓発に努めます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	ごみを適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 5	環境課	清掃センター

事務事業名	廃棄物処理事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	ごみ処理施設の適正な管理運営に努め、処理体制の充実を図り、環境に配慮しながら、ごみ処理施設の延命化を図る事業です。 主な事業費：収集業務委託料87,340千円 施設整備工事費15,119千円								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	ごみ処理量(臼杵地域)	搬入されたごみの量	t	7,303	7,313	7,343	7,221	7,300
		②	最終処分場からの排水の水質	河川へのダイオキシンの排出濃度(国基準:10pg-	pg-TEQ/L	0.0000057	0.0000078	0.0000066	0.000016	0.00001
③										
④										
事業対象	臼杵地域の市民	成果	ごみ処理施設の延命化を図ることにより、各種ごみの適正、安全、安定的な処理が可能となり、市民の方の生活環境の悪化を防ぎ、公衆衛生の向上、住みよいまちづくり、資源の有効活用、環境負荷の軽減に繋がりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	廃棄物処理に関する経費	ごみ収集委託、ごみ処理施設の維持管理費等	千円	169,105	227,809	195,449	149,410	150,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	149,410						149,410

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		普段から一般家庭での環境問題への意識を高めるきっかけとしてごみの排出量を削減するという目的意識を広く市民の方へと啓発するとは意義のあることです。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		リサイクルを効率的に進めるためには、ごみを排出する側の分別意識の改善や理解、協力が不可欠であり、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典で啓発活動を強化します。
事業の問題・課題	市民の方へ身近なテーマである「一般家庭からのごみの排出量」の削減については以前から普遍的なテーマとして存在してきているが、海洋でのプラスチックごみ問題でも取り上げられているように地球環境の向上のために、市民の方一人ひとりが出来ることが多くあるということを粘り強く、各種媒体を通じて訴えかけていくことが大切です。				
具体的な改善案	3Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを押し進めることにより、引き続き啓発に努めます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	ごみを適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------

白杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 6	環境課	環境グループ

事務事業名		し尿処理事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	公共下水道終末処理場の施設を使用して、白杵地域の汲取りし尿、浄化槽汚泥を共同処理する事業です。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	前処理施設処理量	前処理施設へのし尿等搬入量	㎥	12,367	12,689	12,564	12,728	12,660
		②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
	③									
	④									
事業対象	市民・事業者	成果	設備改良工事により、効果的な施設維持管理が行えるようになったため、し尿処理施設を新設することなく、経費の節減を図ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	し尿処理事業に係る経費	し尿等前処理施設の運転管理費等	千円	32,098	37,534	31,988	56,481	39,525		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	56,481						56,481

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		衛生的で快適な生活を送るために必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		適正に、し尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		行政資源量に対し合った効果はあるものの、平成17年6月竣工した施設の機能や能力を長期間維持させるために、計画的な修繕等の対応が必要となります。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	施設稼働後10年以上経過しており、今後修繕費等経費の増加が懸念されます。			
具体的な改善案	必要な修繕を行いながら、効果的な施設維持管理を行います。 長期計画(10年)に基づき今後も全体の事業量を見ながら適切かつ効率的な管理を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	白杵地域のし尿等を適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 7	環境課	環境グループ

事務事業名		広域し尿処理事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	野津地域のし尿処理事業は、豊後大野市との協定に基づき「白鹿浄化センター(豊後大野市)」で処理しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	し尿処理量	豊後大野市へのし尿搬出量	kl	1,914	1,908	1,835	1,815	1,853
		②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
	③									
	④									
	事業対象	市民・事業者	成果	効果的な事業運営により、衛生的で快適な生活を送ることができました。						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		広域し尿処理に係る経費	豊後大野市の白鹿浄化センター運営管理費等	千円	29,164	30,148	31,280	21,291	27,971	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	21,291						21,291

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		衛生的で快適な生活を送るために必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		適正にし尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。
A		A:期待したと通りの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設の長期間維持及び更なる経費節減に向けて委託先である豊後大野市と検討を行います。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	白鹿浄化センターの施設維持管理に伴い、経費増加が予想されます。			
具体的な改善案	効率的な運営ができるように、施設改修及び監理体制等について引き続き豊後大野市と協議を行います。			

課長評価	見直し(縮小、休止、廃止)を検討する(見直し)	理由	将来の広域し尿処理については、豊後大野市との協議及び検討が必要です。
------	-------------------------	----	------------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 8	環境課	清掃センター

事務事業名	各種リサイクル事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	各種リサイクル法に基づき、ゴミの減量化とリサイクルを推進しています。各品目ごとにリサイクル業者への委託による処理、再生処理業者への引き渡し、資源として売却等の処理をしています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	資源化量(プラスチック製容器包装・ペットボトル選別圧縮保)	処理業者引渡量	t	222	241	224	205	197
		②	資源化量(紙類・缶及びその他金属選別圧縮・自転車)	資源売却量	t	912	895	873	796	780
③	資源化量(ガラス瓶・蛍光管・乾電池・電気製品)	資源化処理業者引渡量	t	225	210	191	220	250		
④	有価ごみ売払収入	有価ごみを資源として業者に売却する金額	千円	28,310	25,567	17,374	15,364	20,000		
事業対象	臼杵地域の市民		成果	排出されるゴミに応じて適正なりサイクル処理の推進を図ることで、資源の循環利用、限りある天然資源の消費抑制、地球温暖化防止等の環境の保全に繋がりました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	資源化率	資源化量/ゴミ搬入量	%	14	13	13	11	13		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	55,242						55,242

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	A	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	ごみとして排出されるものの多くは再利用することが可能であるので、それを知って頂くことは大切です。
	有効性	A	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	ごみを再資源化することで貴重な、限りある資源の有効活用が図れる。
	効率性	B	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	リサイクルを効率的に進めるためには、ゴミを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠であり、啓発活動を強化する必要があります。
事業の問題・課題	今後も各種媒体を通じて、限りある資源を次の世代に引き継ぐためにも家庭のごみ分別について啓発活動を強化することが大切です。			
具体的な改善案	3Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを推し進めることにより、引き続き啓発に努めます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	資源の有効利用や地球環境の保全を目的とした事業であり、継続して取り組む必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 9	環境課	環境グループ

事務事業名		清掃センター周辺環境整備事業				新規・継続 ソフト・ハード	新規 ハード			
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
	関連施策名 (施策コード)	I-3-6	高齢者の生きがいづくりへの支援							
		V-13-29	スポーツで健康づくり・体づくり							
事業内容 (経緯)	平成16年に閉鎖された旧不燃物最終処分場については、地元(久木小野)との契約(「新臼杵市不燃物処理センター(仮称)設置に関する基本契約書」)により「閉鎖後の跡地利用については多目的広場及び公園等として整備を行うとともに、施設周辺の環境整備を行う。」と定められています。 旧不燃物最終処分場の跡地利用について、令和2年1月、地元より契約に基づき「パークゴルフ場の整備」の要望書が提出されました。これに伴い跡地利用計画を策定し、活用方法について検討した結果、市にとってもパークゴルフ場が適切と方針決定しました。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
		①	パークゴルフ場整備費用	測量・設計等委託料、工事費用	千円	H29	H30	R1	2,310	
		②								
		③								
		④								
事業対象	市民	成果	「臼杵市不燃物最終処分場跡地利用計画」を策定して基本方針を決定し、整備に向けた測量委託を発注しました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	パークゴルフ場整備進捗率	令和4年度の供用開始に向けた進捗率	%	H29	H30	R1	10	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	2,310						2,310

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		「健康寿命を延ばすための取組み」を主な目的に、「市民の健康づくり」「高齢者の生きがいづくり」「スポーツ振興」「コミュニティづくり」に資する施設となり得ます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		パークゴルフを通して、健康づくり、生きがいづくり等を推進することによって、市民の健康寿命を延ばすことに繋がると考えます。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		基本計画段階の試算では運営コストは赤字となっていますが、今後利用者を伸ばすことにより収入を伸ばすと同時に、運営方法についても合理化を図り赤字部分の圧縮に努めます。また市民の健康寿命が延びることにより、保険、福祉部門の間接的なコスト削減も期待できます。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	利用者数の確保をどのように図るかが最も大きな課題と考えています。			
具体的な改善案	実施設計を作成する中で、愛好者を増やすとともに多くの利用者呼び込むためのコースを検討します。			

課長評価	重点化する(重点化)	理由	旧不燃物最終処分場の跡地利用については地元との長年の懸案事項であり、早急に契約を履行する必要があります。
------	------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 10	部落差別解消推進・人権啓発課	部落差別解消推進・人権啓発・男女共同参画

事務事業名		男女共同参画推進事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚							
	関連施策名(施策コード)	VII-21-53	虐待(DV・子ども・高齢者・障がい者)予防・対策							
基本項目	事業内容(経緯)	男女共同参画社会づくりに向けて、講演会・セミナー等による啓発事業・方針決定の場への女性登用率の向上やDV相談対応等に取り組みました。特に、年4回行うセミナーにおいては、「第2次臼杵市男女共同参画基本計画」の重点目標に沿ったテーマを設定して、幅広い市民の方へ参加を働きかけ、男女共同参画社会への取り組みを推進しました。6月市報で折込チラシを全戸配布し、男女共同参画の啓発を行いました。共同参画セミナーを4回実施。男女共同参画推進懇話会を3回開催しました。5年に一度実施する「男女共同参画社会づくりのための意識調査」を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
						H29	H30	R1	実績値	計画値
		①	推進懇話会実施回数	推進懇話会の開催回数	回	4	4	4	3	4
		②	男女共同参画研修会 回数	研修会開催実数	回	3	3	3	3	3
③	審議会等における女性の登用率	女性委員/全審議会委員	%	33.1	32.6	33.6	31.8	40.0		
④	男女共同参画セミナー回数	セミナー開催実数	回	4	4	4	4	4		
事業対象	市民、団体、事業所	成果	新型コロナウイルス感染症のため、男女共同参画講演会は中止をしました。その代わりに、講演予定だった講師からのメッセージ、男女共同参画週間の周知などの載ったチラシを全戸配布して、市民への啓発を行いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		男女共同参画講演会の参加者数	講演会の参加人数	人	905	913	955	0	800	
コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)		
	1,147							1,147		
評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			直近の市民意識調査では、固定的性別役割分担意識を「同感しない」と答えた人の割合が、5年前の前回調査と比べて10.3%上昇していることがわかりました。引き続き継続した啓発活動が、男女共同参画社会づくりの推進は必要と考えます。					
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			男女共同参画や女性に対する虐待について、お市民の認知度はまだ十分とは言えないため、今後も継続した啓発活動、広報活動を続ける必要があります。					
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			セミナーや講演会、街頭啓発活動など、様々な機会を利用して、市民への啓発活動を行う必要があります。今回は新型コロナウイルス感染症のため講演会や街頭啓発などを中止しましたが啓発手法は継続する必要があります。					
	事業の問題・課題	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、男女共同参画講演会や街頭啓発などの啓発活動が行えませんでした。しかし、長引く新型コロナウイルスの影響で家庭内でのDVなどの増加も懸念されています。								
具体的な改善案	男女共同参画講演会などは小中学校の保護者の参加が多く、同世代に同じ課題を啓発できる効果は重要です。新型コロナウイルス感染症対策を十分に考慮した形での実施が必要です。また、今年度行った「臼杵市男女共同参画社会づくりのための意識調査」の分析に応じた啓発を進めていきます。また、市内の全認定こども園で行われる人権研修の際にDVのリーフレットを配布し、保育士へ啓発や保護者のへ相談機関の周知などを行っています。									
課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)			理由	新型コロナウイルス感染症の影響でDV被害者が増加している現状もあり、女性に対する暴力の予防と根絶のための取組を進める必要があります。					

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
B - 11	部落差別解消推進・人権啓発課	部落差別解消推進・人権啓発・男女共同参画

事務事業名		人権・部落差別問題啓発事業						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード		ソフト						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	V-16-35	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解							
	関連施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚							
基本項目	事業内容(経緯)	家庭・地域・学校・職場など、あらゆる場や機会を通じて、部落差別問題をはじめとする人権問題・差別解消の解決に向けた啓発事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症に関連した差別問題に対する啓発を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	人権・同和問題講演会(8月)	人権・同和問題講演会参加人員数	人	934	984	854	0	800
		②	人権問題講演会(12月)	人権問題講演会参加人員数	人	803	774	774	0	800
	③	企業・団体研修会	企業・団体研修会実施回数	回	50	53	48	12	50	
	④	企業・公共機関啓発	企業・公共機関啓発訪問数	社	66	71	66	73	60	
	事業対象	市民・企業・団体	成果	新型コロナウイルス感染症対策のため、8月と12月の講演会は中止をしました。企業訪問は、感染症対策のため訪問予定企業へ郵送で啓発物品などを送付しました。また、コロナ差別防止のため、小・中学校の児童・生徒や教職員、幼稚園・こども園・保育園などに啓発物品・チラシを配布して広く啓発を行いました。						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		啓発事業(講演会)の参加者	参加人員数	人	1,737	1,758	1,628	0	1,600	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	6,319		714				5,605

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		差別解消3法が制定されたように、部落差別問題をはじめとした様々な人権問題が社会に存在するため、市民に対して継続的な啓発を行う必要があります。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		多くの市民が講演会等の事業に参加することで、一定の効果があります。その時節に合った演題や講師を選定するなど工夫が必要です。新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、啓発を粉う必要があります。
事業の問題・課題	啓発事業については、効果が目に見えにくいこともあり、繰り返し継続的に事業を実施する必要があります。市内企業や団体等にも啓発を行い研修会を実施する等、あらゆる差別の解消に向けた啓発活動を実施することが必要です。あらゆる機会を通じて啓発を行う必要があるため、小規模から大規模の取組を計画的に実施する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえでの啓発活動が必要です。さらに、コロナ差別や今後予想されるワクチン未接種者への差別などへの対応も必要です。				
具体的な改善案	今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応で、大規模講演会や企業訪問、地域交流講演会、各種団体の研修会などの実施に支障がございましたが、コロナ差別など新しい差別問題も発生しており、十分な感染症対策を行ったうえで、様々な方法による啓発を検討する必要があります。				

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	人権啓発は地道に継続することで、効果があらわれます。コロナ差別や新型コロナウイルスに伴うDV被害の増加などより一層の啓発に取り組む必要があります。
------	------------------------	----	---